

◎「会員だより」

10月号の「特集」の「兵庫県における担い手確保の取り組み」を読みました。担い手確保のためにはイメージ戦略と併せ待遇改善は必須で、協議会の仕組みにより改善を図ることができれば将来に繋がると思いました。 匿名希望（市町村勤務、32）

10月号の「特集」の「直轄工事等における新型コロナウイルスへの対応」が大変参考になりました。感染拡大に対して遠隔臨場などで従来よりも効率的・効果的な方策が出てきているのは素晴らしいと思います。技術者として考えるのを止めることなく万全の体制で施工に臨みたいと思います。 匿名希望（市町村勤務、33）

10月号の「上徳不徳」の「デタラメを平気で吐く人びと」は誠に時宜を得た論考でした。大石会長の具体的かつ的確な指摘に大いに頷いた次第です。多くの仲間に噛み砕いて伝えたいと考えております。 松井一男（元地方整備局勤務、64）

10月号の「諸外国のインフラ情報」を読んで、インフラと経済との関係性を改めて認識しました。昨今、公共事業が理解されない世の中ですが、理解が進むよう期待するだけでなく、我々も努力が必要と感じました。 吉田大展（各務原市勤務、37）

10月号の「学ぶ・つなぐ・広げる」の「県の出先事務所における「若手技術職員育成」の取り組み」を読みました。私も若手技術者（特に新入社員）の技術面での育成を担っており、苦労した点と改善の着眼点は非常に興味深く、参考になりました。 匿名希望（高速道路会社勤務、52）

10月号の「後輩技術者に向けたメッセージ」では、職場でのコミュニケーションなどについて掲載されていました。地元住民の方とのコミュニケーションとは異なりますが、とても大切だということを念頭において私も仕事をしています。 匿名希望（市町村勤務、32）

11月号の「表紙」は、鬼怒川の堤防決壊直後に現地対策本部が設置され、派遣された関東地方整備局職員が緊急復旧工法を検討している写真で、臨場感を感じました。 西尾慎也（福岡県勤務、38）

11月号の「特集」で「ミズベリング」という言葉をはじめて知り、興味深く記事を拝見しました。官民が連携した楽しそうな取り組みがあり、河川空間の賑わいが地域活性化につながる可能性を大いに感じました。 匿名希望（市町村勤務、33）

11月号の「特集」の「ようこそ!!小田原漁港」を読みました。漁港にまた行きたくなるようなピクトグラムがいいですね。賑わいの創出として参考にしたいと思います。 匿名希望（都道府県勤務、44）

11月号の「技術資格試験合格体験記」を読みました。自分も一級建築士の資格取得を目指している最中であり、本記事を読んで来年の試験の励みになりました。 匿名希望（市町村勤務、36）

11月号の「海外機関派遣者レポート」を拝見しました。海外のインフラ整備には非常に興味があるので、現状を知ることができてよかったです。 匿名希望（市町村勤務、34）

11月号の「災害発生!そのとき」の「堤防決壊時の初動対応」は、初動という最も混沌とした状況で、どのような行動をとるべきかの道しるべを考えさせられ、大変勉強になりました。 宮崎啓行（都道府県勤務、29）

11月号の「後輩技術者に向けたメッセージ」では「費目」と「節」の管理が重要と書かれていました。まさに公務員技術者に必要なのはこの点で、この管理をしっかり行う人がいないと事業が進みません。こういう話を機会があれば研修等でしてみたいと思います。 匿名希望（都道府県勤務、50）

11月号の「会計検査情報」を読み、2つの事例については、過去にも同じような案件が指摘されていました。会計検査において指摘されている事項を随時確認しておき、類似工事をする際に注意をする事が重要と感じました。 匿名希望（地方整備局勤務、58）

毎回「公務員技術者の訴訟リスク」を読んでいます。職員個人に対する訴訟はないものと考えていましたので、公務員賠償責任保険の加入など考えてみたいと思います。 北谷太幹（市町村勤務、28）

「基礎から学ぶインフラ講座」をよく読んでいます。体系的にまとめられていてとても理解しやすく、今更聞きづらいこともあり、助かっています。 匿名希望（高速道路会社勤務、45）

「第679回建設技術講習会（岐阜市）」の現場研修に参加し、PRISM予算を活用した3次元測量等、最新の技術を学ぶことができました。私が担当している現場ではICTをそれほど活用できていないので刺激を受けました。 匿名希望（都道府県勤務）

「第679回建設技術講習会（岐阜市）」に参加しました。全建の講習会に参加するのは今回が初めてでしたが、実際に実務に役立つ内容で有意義な講習会でした。 匿名希望（市町村勤務）

◎「会員だより」の投稿を募集

月刊「建設」に関する意見・感想・要望、その他の全建活動（建設技術講習会、伝承プロジェクト、公務員賠償責任保険等）に関する意見・感想・要望、業務上の悩み等をお寄せください。お寄せいただいた意見等は、今後の編集等の参考にさせていただきます。月刊「建設」の「会員だより」に掲載させていただいた場合はクオカードを進呈いたします。詳細は全建HP上のバナーをクリックするか、右のQRコードを読み取ってください。たくさんのご応募をお待ちしております。

一般社団法人 全日本建設技術協会 事業課 峯脇・中嶋
TEL : 03-3585-4546 / E-mail : kensetsu@zenken.com

